

講座内容

I. 認知症ケアの枠組みと環境設定

- **認知症ケアの総論**
 1. 認知症ケアの考え方と枠組み
 2. ケアの視点
 - 1) 尊厳の保持
 - 2) 自立支援
 - 3) リスクマネジメント
 - 4) 他
- **認知症ケアの実践**
 1. 認知症に現れる認知機能の障害
 2. 各認知機能の評価
 3. 各認知機能障害に対するケア・トレーニング
- **BPSD に対するケア**
 1. BPSD に対するケアの考え方
 2. BPSD に対するパセップ理論
 3. BPSD のアセスメント
 4. BPSD に対するケア

- **認知症の環境設定の視点**
 - ・安全 ・安心 ・仲間や役割づくり
 - ・自立支援 ・活動を生む
 - ・その人らしさを作る ・尊厳を守る
- **認知力低下に対するアプローチ**
 - ・感覚トレーニング ・認識しやすい環境づくり
 - ・自己身体認識の低下に対するアプローチ
 - ・自己能力認識の低下に対するアプローチ
 - ・自己環境の認識低下に対するアプローチ
 - ・自己認識低下に対するアプローチ



自己遂行しやすい環境設定



認識しやすい環境

II. 認知症ケアの介助技術、ADL、ターミナルケア ほか

- **認知症の介助技術の考え方**
 1. 手続き記憶を引き出す技術
- **各 ADL に対するケア技術**
 1. 食事
 2. 入浴
 3. 排泄
- **ADL に対するケア技術**
 1. コミュニケーション
 2. 移動
 3. 睡眠
- **ターミナルケア**
 1. ターミナルケアの考え方
 2. ターミナルケアの質の評価
 3. 事例 など

- **認知症の方の転倒予防**
 1. 基本的転倒予防
 2. 二重課題 多重課題
 3. 転倒予防反射のトレーニング
 4. 生態学的アプローチ
 5. 転倒予防の環境設定
- **各種療法などの紹介**
- **ケアプラン**



自己承認欲求を満たす



各種療法などの紹介

各ADLに対する認知症ならではの介護技術を学びます

※日程は変更になる場合がございます。

新課程

認知症ケアインストラクター養成講座

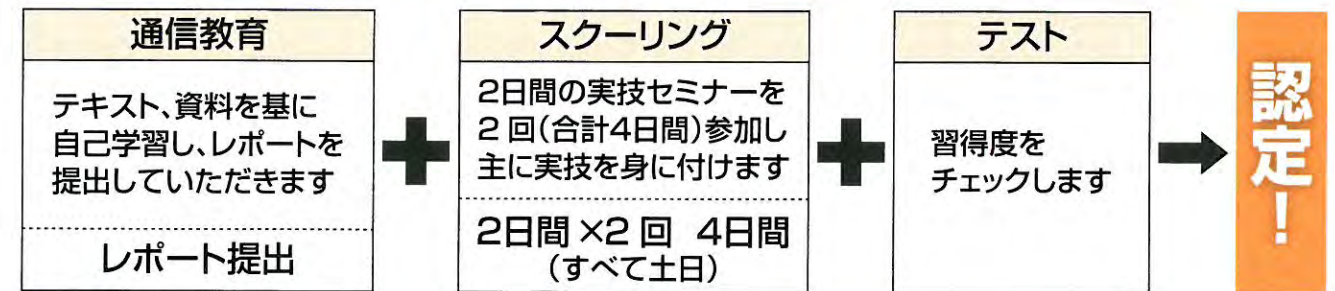
平成29年度からシステム・内容一新! 受講しやすい日程・料金になりました!

認知症ケアインストラクターとは?

尊厳保持・自立支援が求められる介護現場で、認知症ケアの知識・技術を持ってケアを提供できる人材を育成します。
認知症高齢者は今後増加するため、ニーズは高まる一方です。本講座では豊富な実技・グループワークなどを交えながら、現場で役立つ介護技術を学びます。

※「認知症ケアインストラクター」は NPO 法人日本介護福祉教育研修機構の認定資格です

通信教育認知症ケアインストラクター養成講座 習得方法



受講料 旧 105,000 円(税・資料代込)

新 65,000 円(税・資料代込)
一括での受付となります

スクーリング日程 受講会場はI・II、別でも構いません

コース	横浜	大阪
I	10月7日(土)・8日(日)	12月16日(土)・17日(日)
II	11月25日(土)・26日(日)	2018年1月6日(土)・7日(日)

講師 妹尾 弘幸 他

(株)QOL サービス代表取締役社長、早稲田大学非常勤講師、理学療法士、介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士、DCM 上級修了、バリデーションワーカー、認知症ケアインストラクター、ありがとうグループ施設長

会場 横浜：ウィング横浜(横浜市港南区上大岡西 1-6-1)
大阪：未定(大阪市内の予定)

主催 NPO法人日本介護福祉教育研修機構
日本通所ケア研究会

認知症ケアインストラクター養成講座2017 お申し込み書

FAX 084-948-0641

横浜会場・大阪会場のどちらかに○をつけてください		横浜会場 一括申し込み		大阪会場 一括申し込み	
ふりがな	TEL (個人・法人)	FAX (個人・法人)			
参加者名	携帯	PCメール (必須)			
請求先・書類送付先住所	(□法人 □個人 ※どちらかに○をつけてください)				
法人名	職種	経験年数			
職場種別	デイケア・デイサービス・特養・老健・グループホーム・小規模・他 ()				

※上記個人情報は、本研修会の管理・運営またはその他研修のご案内にのみ使用します。 ※いただいた個人情報は当会の「プライバシー・ポリシー」に従い適切に管理いたします。

お問合せ NPO法人日本介護福祉教育研修機構 〒721-0902 広島県福山市春日町浦上1205 (株) QOL サービス内 TEL 084-971-6686
日本通所ケア研究会 FAX 084-948-0641
研究会ホームページ http://www.tsuusho.com/ メール info@tsuusho.com

感覚系のアプローチ



本人に目を閉じてもらい、手や指を触ってどこを触ったかを当ててもらいます

環境に対するアプローチ



白い茶碗では中のごはんが分からないが、色の濃い茶碗を使うことで認識できる

初動動作に対するアプローチ



靴下の履き口を履きやすく広げ、足先にかぶせることで、そのまま手に取って自分で履くことができます

詳細は中面をご覧ください

NPO法人日本介護福祉教育研修機構 / 日本通所ケア研究会

なぜこの資格が必要なのでしょう？

認知症の方、介護者の方への支援は多様であることから十分にできているとは言えない状況です。認知症高齢者などの増加が見込まれるなか、認知症高齢者などがその判断能力に応じて必要な介護や生活支援サービスを受けながら日常生活を過ごすことができるようになることが重要とされます。それには認知症の方に関する様々な課題に対応できるプロの育成が急務となってきます。この講座を受講して、認知症への理解を深め、認知症ケアインストラクターがその役割を担っていけるよう知識・技術を身に付けていただきたいと思います。

認知症に関する今後の動き

認知症の予防を含め、早期発見、早期対応ができるよう適切なサービスが受けられるような体制づくりが必要となる。認知症の方への対応力向上のための人材育成の推進や多職種連携等の医療・介護の連携をさらに推進する。認知症の方の行方不明など、改めて認知症の方やその家族を地域における見守り体制や広域での取り組みづくりを推進する。認知症の初期段階でのニーズの把握や対応できるような資源の整備と併せて認知症の方の声を施策の企画・立案や評価に反映させる仕組みづくりが求められる。認知症の方が集い、自らの体験や希望、必要としていることを主体的に語り合うミーティングの開催等、認知症の方を支える側の視点ではなく、本人の視点に立った施策を推進する。

養成講座の流れ

1 受講申し込み (随時申し込み受付中)

受講料を一括納入してください。

受講料 旧 105,000円 → 新 65,000円

入金確認後、受付証・講座資料等を送付いたします

平成29年より受講しやすい日程・価格設定に改定!

2 資料・テキスト送付 (ご入金確認後9月よりテキスト・資料・課題レポート送付)

講座テキスト・資料・課題レポートを随時送付いたします。送付後は随時課題レポート提出していただけます。

採点・レポート返送

送っていただいたレポートを採点、必要に応じて添削し本人に返送いたします。(合格点に達しない場合は、レポートを修正後、再度提出していただけます)



3 スクーリング (年間4日間)

本講座の中核をなすのがこのスクーリングです。スクーリングは対面式による授業で、主に実技面の能力アップを図ります。同時に全国の仲間との交流を深め、お互いの悩み・工夫等を共有します。現場での悩み、認知症に関する疑問等について、講師に直接質問ができます。スクーリング会場は、その都度、都合の良い会場を選べます(事前に参加会場を選んでいただきます)(体調不良で急に参加できなくなった場合、もう一方の会場、または次年度に変更可能です)

4 習熟度テスト

最終テストで、認知症に関する習熟度をチェックします

テスト



合格



認知症ケアインストラクター 認定!
(合格するまで何回でも試験は受験可能です)

受講のメリット

認知症ケア技術が総合的・系統的に学べ、自信を持って職員や家族の指導できる



職場の教育係・指導者

現場で使える認知症の方の自立支援を促す環境設定・介助方法が分かる



現場職員

現場向けで理論的！わかりやすいので明日からの自分のケアに自信が持てる



認知症の方の対応で悩む職員

BPSD への対応がわかる。認知症ケアでリーダーシップがとれる



リーダーを目指す職員

この講座で学ぶ技術

これらはほんの一例です

自己身体認知に関するケア

職員または自分で触ったときに、どこを触ったか、どのような感じがするかなどを質問し、答えてもらいます。

感覚別注意分割訓練

トレイルメイキングテスト (数字を順番になぞる)を行う。

注意に対するアプローチ(二重課題)

しりとりをしながらキャッチボールをする。

注意の機能低下へのアプローチ

トイレペーパーホルダーは、背景と同じ色調で目立ちにくいため、ホルダーに目立つ色のテープを貼って、注意を引くようにします。

道具を認識しやすくする支援

道具の所へ手を誘導する

認識しやすい環境設定

洗濯バサミで靴に名札を付けると見つけやすくなります。

見当識(人)に対するアプローチ

写真カードと名前カードを作り、神経衰弱をする。

展望記憶の維持・改善プログラム

展望記憶を利用する会話を意図的にします。

注意の分割機能トレーニング

歩きながら風船をつきます。

上記は授業内容のごく一部です。事例を挙げながら、より具体的に学んでいただけます。すぐに使える、マネできる、効果が出た、表情が変わったなど受講生からの感想が何よりの証拠! 認知症の方の対応に悩んでいる、どうしてこうなるの、なんで...を解決したいあなた、ぜひ受講をおすすめします。

受講生の声

- ・今までの考え方が全く違っていったことが分かりました。もう少し早く受講すれば良かったと思いました。(入所 介護福祉士 女性)
- ・環境設定と介助の仕方についてこう考えれば良かったのかと目からウロコです。(通所 作業療法士 男性)
- ・人間らしさを引き出せるようなケアを学べました。少しでも皆さんの役に立てる介護者になりたいと思います。(通所 ヘルパー 女性)